

研修だより

No.11

「学ぶ」授業に関するアンケート結果より③

「学ぶ」授業に関するアンケートの結果は今回で最後となります。今回は「学ぶ」授業を行って初めての成果と先生方の困り感や課題についてお知らせします。ぜひご覧ください！

子どもが「学ぶ」授業をしての成果はありますか。

- ・自分たちで考えて動き出せるようになったこと。
- ・自分で解決しようとする姿勢が見られた。個々のペースに合わせることができた。
- ・学力が向上したかはまだ分からない。子どもたちに委ねられる部分はどこか、と考えることが、より深い教材研究に繋がっている。子どもたちの学校に対する根本的な意識の変革につながる部分を感じる…指示されてその通り動くことが学校生活の基本と思っている児童が多いと思うが、「自分で考えていい・自分で決めて、選んでいい」という感覚を磨くことが出切る。
- ・教師が「教える」をしなくても、単元等によっては自分たちで学んでいくができること。また、算数では計算方法の説明などが全体的に上手になったなと思いました。
- ・「自分たちで学び方を選ぶ」実感があるため、「あのときやったあの勉強ね！」と振り返ることができるようになってきている。
- ・子どもが自分の考えを少しずつ言葉にできるようになった。
- ・まだわかりません。あるのだろうか？！（4件）
- ・授業が自分事として捉えられるようになってきている。
- ・意欲は上がっていると思う。学習規律の改善と合わせ、クラスの空気感もよくなってきたように感じる。
- ・子ども同士での学び合いにより、少しずつ、分からないということを全体の場で出し合えるようになってきた。
- ・前向きに取り組むことができる児童が増えた。
- ・「教える」の前に「学ぶ」がある方が子どもの目は輝きます。もちろんのち「教える」時間は必要です。
- ・少しずつ学習に向かう姿勢がついてきたように思います。
- ・子ども一人ひとりの得意不得意や、興味の対象がよりわかりやすくなったため、授業の幅が広がったと思います。
- ・子どもたちの同士の関係性が深まった。表現力が高まってきたように感じる。
- ・普通の授業では活躍しない子どもと友達と相談したり、自分の考えを伝えたりすることができるようになる。
- ・自らの力で進めようとするができる。

成果

「学ぶ」授業を行うことで、授業を「**自分事**」として捉えられるようになりました。

自分事として捉えることによって、話す・聞く・伝える場面が多くなりました。

その結果、

「**授業を進める**」「**上手な説明**」などのスキルが上達したり、「**友達との関係性の向上**」など雰囲気の変化したりするなどの成果がありました。

「学力が向上しているかはわからない」と考えている先生が多いようでした。各種テストなどの結果にも、点数の上昇などが成果として表れていると良いですね♪

子どもが「学ぶ」授業を考えたときに、先生が困ったり、課題としたりしていることはありますか。

- ・指導事項を網羅しながら、「学ぶ」授業を進めて行くこと。一人一人の活動をどう見取って評価していくか。
- ・指導内容をおさえること。
- ・ある程度「学び方」を習慣化させる必要があると思うので、その段階的な指導をどうするか、試行錯誤しながら取り組んでいる。自身の学級においては成長の実感はあるが、系統化するととなるとまだ全貌が見えてこない。Googlechromeの活用例を色々と模索しているが、より具体的な例をもっとたくさん知りたい。現代型授業形態としてのメリットや意味合いが分かるが、全体の場での発言力みたいなものが低下しそうで怖い。
- ・どこまで言葉掛けやアドバイスをすべきか。
- ・授業の最終的なまとめ方、収束のさせ方が難しい。様々な視点で考えさせると、答えなども様々になり、子どもたちは自分で考えて解決しているつもりなので、そこで終わってしまっているような感じにもなる。(これはこちらの友達の意見の聞かせ方にも難ありですが)時間が迫ると先に答えを出してしまう場合が多いので改善したい。
- ・どこまで指導者が進めるのか、どこから(どこを)児童が「学ぶ」場なのかの設定に悩むことがあります。
- ・子どもが課題に向けて活動することができるように適切な手立てを用意してあげられるかどうか不安だなと思います。
- ・一斉授業に慣れてしまっているため、自分自身がまだ個別最適に取り組むための仕組みづくりをできていない気がする。ICTに苦手意識もあるので、うまく使って子どもの活動の幅を広げたい。
- ・どんな授業スタイルが望ましいのか迷う。
- ・学びの成果を子ども同士で共有するよい方法を知りたい。
- ・複線的な準備は必要になるので、そこは大変だと思います。
- ・Step up 学級のお子さんは、記憶や定着が難しい子が多いので、同じことを何度も形を変えて取り組む必要がある。新しいことを考え出したり、自分たちで進めて学ぶということに、とても難しさを感じています。
- ・内容の充実。
- ・特に支援学級での授業では、付きっきりにならないと学習が成り立たないことがあり、それが課題です。
- ・子どもたちの学びの時はすごく盛り上がっているのに、教師の話になったとたんシーンとなってしまふことがあるので、つなぎ方やまとめ方が課題だなあと感じる。また、時間内に教室全体の様子を見取ることが難しく、最後になって困っていた子がいたことに気づくこともある。
- ・子どもの意欲に大きな差がある。できる子はどんどん学習に取り組むし、意欲が低い子は手が止まってしまう。
- ・学習内容の繋がりが子どもでは難しい
- ・個人差や学力差によって、達成度・達成感に差が出てしまうため、全体交流などの工夫が必要。

課題

今年から始まった「学ぶ」授業。どのように授業をつくっていくのか、先生方も苦労しているようです。大きく3つに分けられました。

指導内容の定着に関する困り感について

- ・指導内容や指導事項が児童に定着しているか。また、指導するタイミングはどうすべきか。
- ・学習内容のつながりを子どもだけで考えるのが難しい。
- ・評価はどのように行うのか。

子どもたちの差について

- ・学習意欲の差をどのように埋めるのか。
- ・学力の差をどのように埋めるのか。



できる児童はどんどん学習に取り組むし、わからない児童は手が止まってしまう。達成度・達成感に差が出る。全体交流の難しさ。

授業スタイルについて

- ・どこまでが先生が進めて、どこからが子どもたちが進めるのか。
- ・授業のまとめ方や収束の仕方はどうすべきか。
- ・授業者の子どもへの関わり方はどうするとよいのか。(手が止まっている児童に対して)

という意見が多かったです。研究部でも検討したいと思いますので、よい考えがあれば教えてください！